

Sex Differences in Coronary Artery Calcification Score and its Use as a Predictor of Progression of Diabetic Nephropathy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 豊永, 愛子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032649

主論文の要旨

Sex Differences in Coronary Artery Calcification Score and its Use as a Predictor of Progression of Diabetic Nephropathy in Japanese Patients with Type 2 Diabetes Mellitus

(日本人 2 型糖尿病患者における腎症進展の予測因子としての冠動脈石灰化スコアの意義と性差)

東京女子医科大学糖尿病・代謝内科学教室

(指導：馬場園 哲也 教授)

豊永 愛子

International Journal of Medical Research &

Health Sciences, 2018, 7(10): 79-85 に掲載

【要 旨】

2 型糖尿病患者における冠動脈石灰化スコア (coronary artery calcification score、CACs) と腎症進展の経過を男女別に評価することによって、冠動脈疾患と腎症進展との関連を明らかにすることを目的とした。冠動脈造影 CT によって CACS を評価した 2 型糖尿病患者 107 名、男性 71 名、女性 36 名を対象とした。CACs は Agatston score を用いて算出し、男女別に低 CACS 群、高 CACS 群の 2 群に分類した。冠動脈 CT 施行後 1 年ごとに腎症の評価を行い、腎症病期の進展をエンドポイントとした。男性において、経過観察後 5 年の累積腎症進展率は高 CACS 群 52.8% であり、低 CACS 群 22.9% に比較し有意に高率であった ($p=0.008$)。網膜症の有無別に解析したところ、網膜症のない男性で、高 CACS 群は低 CACS 群に比較し腎症の進展が高頻度であった (60.0% VS. 20.0%, $p=0.007$)。網膜症を有する群では両群間に有意差を認めなかった。一方女性では、高 CACS・低 CACS 群間の腎症進展率に有意差を認めず、網膜症の有無別の解析でも有意差はなかった。2 型糖尿病男性において、CACs は腎症進展の予測因子となりうる。女性ではさらに多数例・長期間の観察が必要である。